

令和7年度 第2回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議 会議録

【会議の概要】

開催日時	令和7年11月28日（金）13時00分から14時00分まで
開催場所	宮前区役所4階 大会議室
委員 (順不同・ 敬称略)	本橋 隆子 (聖マリアンナ医科大学) 亀谷 雄一郎 (宮前区医師会) 宮下 大志 (宮前区P.T.A協議会) 大塚 靖夫 (宮前区地域包括支援センター連絡会議) 角山 正敏 (宮前区地域自立支援協議会) 小川 芳郎 (宮前区民生委員児童委員協議会) 山田 礼雄 (株式会社東急ストア)
欠席委員	小平 隆雄 (田園調布学園大学) 江木 幸代 (宮前区社会福祉協議会) 大久保 透 (宮前区全町内・自治会連合会)
関係職員	小泉 幸弘 (宮前区役所副区長) 長井 武志 (地域みまもり支援センター所長) 津田 多佳子 (地域みまもり支援センター副所長) 西村 正道 (地域みまもり支援センター担当部長) 小林 聰美 (地域支援課長) 富田 幸子 (地域支援課 地区支援第1係長) 中村 久美子 (地域支援課 地区支援第2係長) 成島 正浩 (地域支援課 地域サポート係長) 江口 大 (児童家庭課長) 堀 浩司 (高齢・障害課長代理 高齢者支援係長) 江口 健太郎 (高齢・障害課長代理 精神保健係長) 山崎 隆史 (保護課長) 大塚 晃 (衛生課長) 平山 宏子 (保育所等・地域連携担当課長) 野平 夕子 (学校・地域連携担当課長) 戒田 洋一郎 (宮前区役所危機管理担当課長) 玉井 玲子 (宮前区役所まちづくり推進部企画課長) 松井 万帆 (宮前区役所まちづくり推進部地域振興課長) 舟田 彰 (宮前図書館長)
事務局	大木 かほ里 (地域ケア推進課長) 飯島 達也 (地域ケア推進課 企画調整係長) 山本 浩平 (地域ケア推進課 企画調整係) 栗野 智史 (地域ケア推進課 企画調整係)
オブザーバー	高相 強志 (川崎市宮前区社会福祉協議会 事務局長)
傍聴人の数	0名

議事 (公開)	(1) 地域包括ケアシステム推進に向けた取組（令和7年4月～10月） （資料1） (2) 第8期宮前区地域福祉計画について（資料2） (3) 第7回川崎市地域福祉実態調査について（資料3） (4) 意見交換の実施について (5) その他
配布資料	資料1 地域包括ケアシステム推進に向けた取組（令和7年4月～10月） 資料2 第8期宮前区地域福祉計画について 資料3 第7回川崎市地域福祉実態調査について 宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議委員名簿 宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議関係者名簿 令和7年度第2回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議席次表 川崎市宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議開催運営等要綱

【議事要旨】

発言者等	発言要旨
開会	事務局から開会の挨拶 事務局から会議公開、会議録の作成と公開について説明、傍聴人0名 小平委員、江木委員、大久保委員欠席 今回から江田委員に代わり山田委員が出席
事務局	〔議事1〕地域包括ケアシステム推進に向けた取組（令和7年4月～10月） ・事務局及び所管課から、資料1に基づき対象期間の地域包括ケアシステム推進に向けて実施した取組について説明
事務局	今年度実施した取組について各所管課から説明しましたが、ここにいらっしゃる皆様をはじめ、地域の方々の御協力のもと成り立っているものがほとんどです。改めて御礼申し上げます。 これらの取組等について御意見・御質問をいただきたいと思いますが、何かございますでしょうか。
事務局	特に無いようですので一旦以上とさせていただきます。何かございましたら、後ほどの意見交換の時間に御意見等いただければと思います。 続きまして、議事2の第8期宮前区地域福祉計画について、議事3の第7回川崎市地域福祉実態調査について事務局から説明させていただきます。
事務局	〔議事2〕第8期宮前区地域福祉計画について ・事務局から地域福祉計画の位置付け、川崎市・各区地域福祉計画の現状と第8期地域福祉計画の方向性について説明 〔議事3〕第7回川崎市地域福祉実態調査について ・事務局から目的、調査概要、ヒアリング調査団体、アンケート調査項目等について説明
事務局	〔議事2〕〔議事3〕についてあわせて御説明しましたが、御意見・御質問がありましたら挙手をお願いします。
宮下委員	事前に気になる点についてメールをさせていただいていますが、資料2について資料作成の方向性について書かれているだけで、内容については書かれて

	いなかったと思います。これは来年の2月に内容が決まっていくということで内容についての説明ではないという認識で良いでしょうか。
事務局	来年の2月から担当者会議を毎月実施予定となっており、どのような項目を掲載していくかなどの話し合いが始まっています。
事務局	<p>その他御質問等なければ〔議事2〕〔議事3〕については以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして〔議事4〕の意見交換となります。こちらにつきましては前回の会議で亀谷委員より事前にテーマを決めた方が良いのではという御提案をいただき、事務局からテーマを提案させていただいているが、今回は障害のある人もない人も共に支え合う地域社会の実現に向けて、意見交換を実施したいと考えています。委員の皆様やそれぞれ所属している団体で障害のある人との関わり方や、その際の工夫や課題、地域住民の障害に対する理解を深めていくにはどのようにすれば良いかなど、様々な観点から御意見等いただければと思っています。</p> <p>まず資料1で障害に関する理解を深める勉強会について説明しましたが、角山委員に御参加いただいているので、角山委員に補足も含めてお話ししてから意見交換を進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
角山委員	<p>勉強会の講師として話をさせていただきましたが、これまで当事者やその家族、支援者側向けの勉強会の経験はありましたが、地域の方々に対して行った経験が無く、どのようなアプローチをしていけば良いか当日まで悩みながら進めていました。結果的には多くの住民の方への声掛けにより 20名以上の方に参加していただき、良い会になったと思います。</p> <p>終了後に参加者とお話をする中で、障害のある方のイメージが付きにくいことによる不安があると感じました。また、障害がある無いに関わらずですが、知らない、交流がないということから不安に感じている部分があると思います。今回は初步的な部分の話で難しい話はしませんでしたが、障害のある方との関わり方などを考える良いきっかけになったのではと感じました。</p> <p>当日は統合失調症とうつ病に関しての事例を作成の上、グループワークを行いましたが、事例に関する話だけでなく、皆さんが現在困っている事や、家族に障害がある事などの話をされており、想像していた以上に皆様色々な経験をされていていることが分かりました。また地域の実情について知ることができ、私としても勉強になりました。</p> <p>現在隔月で市営有馬第2団地ネットワーク会議に参加させていただいている。我々は地域に入り込むことが苦手な部分もありますが、勉強会をきっかけに地域に入り込み、地域の方々がどのような話し合いをしているか、地域でどのような催しがあるかなどを理解することができるようになりました。これは勉強会のおかげだと強く感じています。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。角山委員のお話について御質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>それでは皆様から、それぞれの立場で障害のある人と関わった事例や御経験など自由にお話しいただき検討を進めていきたいと思います。地域包括支援センターの大塚委員から順番にお話しいただけますでしょうか。</p>

大塚委員	<p>身体障害者の半数は高齢者ということはありますが、我々が手を焼いていることとして、本日角山委員からお話をあった精神障害について、精神障害があり引きこもっている子どものいる家庭への支援がここ数年で増えており、非常に深刻な問題だと思っています。この問題は表面化をしづらいですし、親御さんも含め表立って相談をしない、相談をしても適切な支援がなくそのままになっている方が増えている状況です。近所で長年つながりがある方だと状況を知っていて心配していると思いますが、声をかけて手を差し伸べる事は難しいですし、親だけで面倒をみてきていた中、親が介護保険制度を利用するようになって初めて包括が知ることとなつて、これまで誰も関わってきていない中どのように支援していくかという事について、区内のどの包括も困っているという状況があります。</p> <p>のような引きこもりで精神障害のある子どもがいる家庭への支援について、子どもが小さい時からどのような支援ができるかなどについて知ることができればと考えています。</p>
宮下委員	<p>勉強会について御説明いただきありがとうございます。事前に意見を出させていただいていましたが、様々な取組を実施する事は素晴らしいですが、この取組を宮前区にどう広げていくかという事が大事な部分で、資料1では次どうしていくかという事が記載されていません。市営有馬第2団地以外でも同じような状況の場所はあると思います。関わっている民生委員などは、どちらかというと受け身側で、積極的にアプローチしていけるのは行政だと思うので、次の展開などを考えていただき、大塚委員のお話しのように各地で困っていると声の上がっている所と連携して前に進めていってもらうと、より良い宮前区になっていくのではと思いました。</p> <p>PTAとしては、障害とは少し違いますが、宮前区のみ「ゆうゆう広場」はないですよね。登校できない子どもが年々増えていて、障害ではないですが地域に溶け込みたくても溶け込めていない事を問題視しています。宮前区においても「ゆうゆう広場」という形がよいのか、それ以外の形がよいのか考える必要がありますが、「ゆうゆう広場」は宮前区になぜないのかという声は良く聞きます。障害とは違う観点にはなりますが、「ゆうゆう広場」の整備について考えてもらいたいなと思います。</p>
野平学校・ 地域連携担当 課長	<p>宮前区では「こどもサポート南野川」で学校に通うことが難しい子どもや、子育て等で悩んでいる保護者の方をサポートする事業を行っています。場所は南野川小で南野川幼稚園の跡地になります。小学校3～4年生から18歳位までの子どもを対象に9時から16時まで活動できる場所として事業を実施しています。活動内容については委託事業者が学習支援を行ったり、畑の作業をして収穫した作物での調理実習、理科の実験などをやっており、その中の自分の自信を回復していく場を提供しています。登録者は30名程度で1日10人来るかどうか位となっています。</p>
亀谷委員	<p>我々医師が今回のテーマで関わる事とすれば、専門性を活かして定義づけやそのグレードを決めるのが仕事で、皆さんがその結果を見て対応していくのですが、我々がラベリングしていくのが本当に良いのだろうかといつも考えます。</p>

	<p>障害とは Disorder で普通でないという事ですから、普通って何だって考えると障害って何だとなり、非常に難しい問題に突き当たります。本人が障害だと思っていれば障害なのか、周りには分からなくても自分が障害だと思っていれば障害ですし、自分はまともだと思っていても他人から見れば明らかに障害者だという事もあります。ですので、介入する前に障害とはどういうものなのだろうかという事を皆がある程度把握しておくことが重要です。</p> <p>普通でないことが障害という事になってはいますが、障害が無い人は世の中にいるのだろうかという事があります。ですので、それぞれの個性として本人が自分らしく生きているという事を尊重して、第3者として介入するとすれば本人が助けを求めている時と、周りとトラブルになった時などだろうと思います。</p> <p>昔は個性と言われていたものが障害と言われるようになっており、少し落ち着きのない子どもと言っていたような子供が、今はADHDやLD、アスペルガー症候群など、どんどん細分化されていく時代になっていますので、これは行き過ぎで良くないと思っています。行き過ぎてしまうと子ども自身が病名に逃げてしまって個性として生きられなくなってしまうと思います。そのような事も皆で考えて、どのように関われば良いのかという事をワーキングしていくことが重要だと思います。以上です。</p>
本橋委員	<p>当院は、新しい外来棟・入院棟が完成し、新しい病院として運営していますが、来年度の病院機能評価を控えて、様々な箇所の見直しを行った結果、新病院であるにも関わらず、障害のある方への配慮が不足している部分が見えてきました。目に見えやすい身体障害のある方への対応は進んでいましたが、特に聴覚障害のある方への情報伝達・案内に関する対応が手薄になっていることが発見されました。外見からは判断が難しい障害を持つ方は、私たちが想像している以上に日常で不便を感じているのだろうと改めて感じました。</p> <p>支援の在り方については様々な議論があり、「障害の種別ごとに支援を分けるべきではない」という意見もあります。しかし、先ほど話題に上った精神障害のように、外見からわからないことで支援が受けられなかったり、周囲にその状況を気づいてもらえなかったりするケースもあります。こうした見落とされがちな部分をいかに把握し、的確に支援を講じていくかという視点を持つことが、今回のテーマである「障害のある人もない人も共に支え合う」という目標の実現につながるのではないかと思います。</p> <p>その視点を踏まえて、今回の勉強会に参加された地域住民 20 名のうち、ご自身やご家族に障害のある方、いらっしゃらない方がどの程度の割合を占めていたのかが気になりました。もし把握されていれば教えていただけますでしょうか。</p>
高齢・障害 課長代理 江口係長	<p>今回の開催にあたり、事前申し込みなどせず来た人に自由に参加してもらいたいという要望があったため、参加者の状況を把握はできていませんが、各棟の責任者や階段責任者という階層の責任者がそれなりにしゃり、責任者として困り事を聞く事があるという話があつたため、まずはその方々に話を聞いてもらおうという事で実施したため、全く関係がない人はごく少数だっただろうという認識ではあります。</p>

本橋委員	質問させていただいた意図としては、参加者の属性によって提供すべき情報が異なるのではないかと感じたからです。すでに支援者として関わっている方と、障害のある方との関わりが全く無くこれから知ろうとしている方では、学ぶべき内容が異なると考えられます。このような参加者を一律に混ぜてしまうと、かえって誤解を生むことや、不適切なレッテル貼りを助長するなど、逆効果になる懸念があります。そのため、参加者の経験や知識レベルに応じて情報を提供していくことが重要と思いました。
高齢・障害 課長代理 江口係長	<p>御指摘のとおりで、我々としてもそこは非常に重要なと思っていました、今回は団地ネットワーク会議参加者と棟責任者、階段責任者のみの参加として、他の居住者にはアナウンスしない事としました。次回は1月に開催予定ですが、広げ方を慎重に検討させていただき、まずは各責任者の方々に広げていきつつ、その方々から少しずつ広がっていけばよいと考えています。</p> <p>先ほど宮下委員から他地区にも広げていくことが大事と御意見をいただき、もちろん課題だと思ってはいますが、広げ方によってはハレーションが起きる恐れがあり、それに対応できないリスクもあるため、良い取組だからこそ、しっかりと土台を作って広げていきたいと考えています。</p> <p>今回の勉強会については角山委員からもお話がありましたが、そこに出席の皆さんに、一般精神保健講座という事で、もう少しコアな部分のお話をする旨アナウンスさせていただいたところ、民生委員の方が何名か参加していただいたという事もありましたので、広げていき方は慎重にしながらも、普及啓発は大切な事ですので、しっかりと進めていきたいと思います。貴重な御意見ありがとうございます。</p>
事務局	一般精神保健講座の講師の方はどのような方でしたでしょうか。
高齢・障害 課長代理 江口係長	昨年まで行政で働かれていた精神保健指定医の方に来ていただき、精神疾患の事や、精神障害をお持ちの方、支援が困難と思われている方と接する際の構えなどについてお話しいただきました。
事務局	様々な精神疾患について幅広い情報が得られるような講座を工夫しながら実施しているところです。皆様御意見ありがとうございます。 続きまして山田委員お願いできますでしょうか。
山田委員	<p>今回の勉強会の開催について、障害について知るという意味では良い取組だと思うのですが、これまでのお話のとおり、実際に身内にいる方と、いないけど知りたいという方では、そもそもスタート地点や悩みは違うと思います。</p> <p>自分自身もある程度知った立場だと属性を分かった上で今後の対応などを聞きに行くことになると思いますが、これまで関わってきていない方は違うと思うので、難しいとは思いますが、どのように広めていくかを考えていただければと思います。</p> <p>我々はスーパーで、1日に何千人のお客様がいらっしゃいますので、例えば講座等の告知を店内に掲示する形などでも協力できると思います。もし何かあれば協力しますので、よろしくお願いします。</p>
事務局	お申し出いただきありがとうございます。告知がなかなか難しい中で、区役所等に掲示や市政だよりなど色々な広報がありますが、民間の地域の方々が通われている所で案内ができるととても良いと思いますので、また御協力をお願

	<p>いできればと思います。</p> <p>続いて小川委員お願ひいたします。</p>
小川委員	<p>民生委員をやっています小川です。今日は障害にスポットが当たっていますので、そちらのお話しをします。</p> <p>私は向丘第2地区民生委員児童委員協議会で今活動しています。向丘地区は第1地区もあり、それが1つとなって向丘地区社協の組織の中核をなしています。</p> <p>向丘地区社協ではいくつかの部会があり、その中の一つとして障害児（者）部会があります。現在の地区社協の会長が障害に関する造詣が深く、できる事からやろう、まず障害について知ろうという事で、向丘地区社協の構成委員の中に高齢者施設・障害者施設の方がいるため、いくつかの施設の責任者の方や施設入所、通所されている方などから直にお話を聞く機会がここ3年で何回かありました。短い時間でやっているため、プロの目から見たら笑われてしまうかもしれません、まるっきりの素人からすると目から鱗な話で、今まで見てこなかった世界が見えてきたように思います。</p> <p>次の段階は勉強だけで終わりではなく、共に生きる社会を作るにはという事で、当事者の子どもと一緒に遊んでみようと、具体的にはクリスマス会を12月にやります。前回は付き添いの方とともに15組位の方とお茶を飲んでケーキを食べて、ゲームをして、ボランティアの方の演奏やマジックなどをしました。そうすると、障害のある方とすれ違った際、ただ避けて通ろうと思っていたところから、少し目が向けられるようになったと感じました。</p> <p>障害のある方に声掛けする際、後ろから声をかけてはいけないとか、いきなり肩を叩いてはいけないという話があり、なんでかと言ったら、いきなり知らない人から声を掛けられるとパニックになる人もいるという事でした。じゃあどうすればいいかというと、正面に出てやさしくハッキリと分かりやすい言葉で声掛けをすると聞き、そうなんだと思い覚えています。</p> <p>お勉強をしても実践できないと意味がないので、我々の地区社協も少しあは意味のある活動をしてきているのではないかと感じています。</p> <p>私が言いたいこととして、知ることは大事だなという事と、知る手立てとして支援者や当事者などから話を聞くチャンスがあればと思います。私も会長になるまで勉強会などがあっても参加してこなかったですが、何かきっかけがあって参加したところから、さらに学びたいなど広がりが生まれていくのだろうと思います。</p>
事務局	<p>皆様ありがとうございました。1周お話をいただいたてちょうどお時間になつてきておりますが、大塚委員からは介護保険制度を利用するようになって初めて家の様子が見えてくることもあるというお話がありました。宮下委員からは「ゆうゆう広場」のお話もありましたが、今回の御報告した取組をどのように広げていくかというお話をいただきました。亀谷委員からも本人が自分の足で歩いて行くためにはということについてキーワードをいただきました。本橋委員のお話しから、聴覚障害という目に見えない障害に着目して取り組む必要性を感じました。山田委員からは自身の御経験を含めてお話をいただき、広報の部分でも協力いただけるという事でした。小川委員からは地区社協での障</p>

	害児（者）部会の方で活動されている実績等のお話をいただきました。最後に全体のお話を聞いたうえで、御意見・御提案などありまいたら何点か伺ってこの会を終了させていただきたいと思いますが何かある方いらっしゃいますでしょうか。
津田副所長	<p>本日はありがとうございました。皆様のお話は障害とは何か、共に生きるとは何かなど本質の部分だったと思います。全く障害のない人はいないと思います。川崎市の地ケアとして、どのような状態であっても自らが望む場で暮らし続けられる地域づくりを目指して取組を進めています。</p> <p>また、本日のお話の中で誤解のないよう説明させていただきたいのですが、引きこもりというのは状態像であって、決して病気ではありませんし精神障害でもありません。引きこもりの背景に障害や病氣があるかもしれませんのが、引きこもり自体がいけない事ではないです。その点については御理解いただきたいと思います。ただ、そのような状況の中で生活していく分には良いですが、本人や御家族、周囲が困った時にすぐに手が差し伸べられる地域を作りたいと私達も考えていますので、今後とも是非御協力をお願いしたいと思います。</p>
宮下委員	会が閉まってしまいそうなので、資料1で気になるところがあったので良いでしょうか。取組9の子ども食堂交流会について、代表者の要望から開催していただきありがとうございます。この会がとても良かったのではないかなどって、実際に良かったという話も聞きますし、開催し続けた方が良いのではないかと僕は思っていますが、これがどのように発展していくのか、それとも1回やっておしまいなのか、そのあたり教えていただければと思います。
事務局	5月に開催した際に、今後も定期開催を希望するか伺ったところ、まずはライングループを作ることになりますて、我々としては、また集まりたいなどの要望があれば場の提供や日程調整を行う旨を伝えています。今のところはそのようなお話はないのですが、子ども食堂も増えてきていますので、集まる機会について提案をしてもよいのではないかと考えています。
宮下委員	今回9団体でグループを作ったと思いますが、入れていない団体もありますので、その方々とのネットワークづくりについて考えていただければと思います。
事務局	分かりました。ありがとうございます。
宮下委員	うちの子ども食堂も何か記事にされていましたよね。
事務局	今年の9月に市政だよりの1面で子ども食堂を紹介しましたが、誌面の都合でイメージ写真など少ししか掲載できなかつたので、ホームページに掲載しました。そちらのお話かと思います。
事務局	<p>あっという間に14時になってしまい、話し足りない部分もあるかと思いますが、御質問等何かございましたら、地域ケア推進課で伺いますし、専門的な事であれば所管課で対応いたしますので、遠慮なく御意見・御提案をお寄せいただければと思います。</p> <p>それでは駆け足にはなりましたが、[議事4]意見交換は以上で終了とさせていただきます。議事はこれで全て終了となりました。ありがとうございます。</p> <p>次の開催は2月頃を考えております。近くになりましたら日程調整等のメールを送らせていただきます。</p>

	これを持ちまして終了させていただきます。ありがとうございました。
--	----------------------------------